

県職員意識・実態調査の結果概要

1 調査の概要

- (1) 調査対象 兵庫県職員 知事部局、出納局、企業庁、病院局、各種行政委員会事務局に所属する正規職員（病院の医療技術職、学校の教員、県警は対象外）
- (2) 調査方法 兵庫県電子申請共同運営システムを利用したインターネットによるアンケート調査
- (3) 調査時期 平成22年8月
- (4) 回答数 2,063

2 調査結果

(1) 兵庫県が平成15年4月に施行した「県民の参画と協働の推進に関する条例」を知っていますか。

選択肢	平成17年度		平成22年度	
	回答数	割合	回答数	割合
よく知っている	79	7.5%	242	11.7%
条例の趣旨は知っている	372	35.4%	718	34.8%
条例があることは知っている	465	44.3%	948	46.0%
まったく知らない	128	12.2%	155	7.5%
無回答	6	0.6%	0	0.0%
合計	1050	100.0%	2063	100.0%

(2) 「県民の参画と協働の推進に関する条例」が施行(平成15年4月)されてから、地域を住みやすくするための活動(子育てや高齢者への支援、緑化活動や交流行事など地域活動やボランティア活動。以降、「地域づくり活動」と呼びます)は活発になったと思いますか。

17年度: 阪神、淡路大震災後、地域づくり活動は活発になったと思いますか。

選択肢	平成17年度		平成22年度	
	回答数	割合	回答数	割合
とても活発になった	110	10.5%	154	7.5%
少し活発になった	578	55.0%	788	38.2%
変わらない	178	17.0%	565	27.4%
わからない	179	17.1%	556	27.0%
無回答	5	0.4%	0	0.0%
合計	1050	100.0%	2063	100.0%

(3) 「県民の参画と協働の推進に関する条例」が施行(平成15年4月)されてから、県民との参画と協働による県行政は進んでいると思いますか。

選択肢	平成17年度		平成22年度	
	回答数	割合	回答数	割合
たいへん進んでいる	28	2.7%	144	7.0%
どちらかというに進んでいる	432	41.1%	838	40.6%
どちらともいえない	466	44.4%	919	44.5%
どちらかというに進んでいない	78	7.4%	111	5.4%
まったく進んでいない	32	3.1%	51	2.5%
無回答	14	1.3%	0	0.0%
合計	1050	100.0%	2063	100.0%

(4) 施策・事業の計画、実施、評価の各段階で、参画と協働の手法の導入に努めていますか。

選択肢	平成17年度		平成22年度	
	回答数	割合	回答数	割合
積極的に導入している	62	5.9%	204	9.9%
どちらかと言うと積極的に導入している	152	14.5%	394	19.1%
どちらとも言えない	662	63.1%	1263	61.2%
どちらかという導入に消極的である	80	7.6%	111	5.4%
導入には消極的である	53	5.0%	91	4.4%
無回答	41	3.9%	0	0.0%
合計	1050	100.0%	2063	100.0%

(5)「積極的に導入している」「どちらかと言うと積極的に導入している」と答えた方にお聞きします。参画と協働の手法を導入して、どのような効果がありましたか。(H22年度複数回答)

選択肢	平成17年度		平成22年度	
	回答数	割合	回答数	割合
県民の理解・協力を得て、事業を進めやすくなった	48	22.4%	169	28.3%
県民の声を反映した事業をすることができた	100	46.7%	355	59.4%
費用を効果的に使うことができた	8	3.8%	50	8.4%
職員の手間が少なくなった	3	1.4%	17	2.8%
その他	36	16.8%	56	9.4%
無回答	19	8.9%	31	5.2%
合計	214	100.0%	-	-

(6)参画と協働の手法を導入しようとしたときにどのような問題・課題がありましたか。(複数回答可)

選択肢	平成17年度		平成22年度	
	回答数	割合	回答数	割合
所属課室の雰囲気、導入に積極的でない	45	4.3%	115	5.6%
参画と協働の知識やノウハウがなく、進め方がわからない	402	38.3%	748	36.3%
導入することによって、手間が増える	351	33.4%	878	42.6%
予算がない	157	15.0%	392	19.0%
職員間で参画と協働の必要性について、認識の差が大きい	252	24.0%	491	23.8%
県民やNPO・ボランティア団体、企業の参画・協働がなかなか得られない	98	9.3%	274	13.3%
市町の参画・協働がなかなか得られない	94	9.0%	227	11.0%
その他	172	16.4%	258	12.5%
無回答	157	15.0%	-	-

(7)参画と協働による県政を推進するために、県としてどのような支援方策が必要だと思いますか。(複数回答可)

選択肢	平成17年度		平成22年度	
	回答数	割合	回答数	割合
わかりやすい県政情報の発信	454	43.2%	890	43.1%
地域づくり活動にともに取り組む機会の充実	373	35.5%	729	35.3%
市町と県との連携	256	24.4%	613	29.7%
参画と協働の手法を取り入れられる予算の確保	291	27.7%	700	33.9%
意見・提案する機会の充実	255	24.3%	422	20.5%
県政の評価・検証に参画する機会の充実	125	11.9%	228	11.1%
人材育成	-	-	738	35.8%
その他	56	5.3%	131	6.3%
無回答	36	3.4%	0	0.0%

(8)あなたは地域づくり活動に取り組んでいますか。

選択肢	平成17年度		平成22年度	
	回答数	割合	回答数	割合
取り組んでいる	249	23.7%	875	42.4%
取り組んでいない	797	75.9%	1188	57.6%
無回答	4	0.4%	0	0.0%
合計	1050	100.0%	2063	100.0%

(9)「取り組んでいる」と答えた方にお聞きます。それは、次のうちの活動ですか。(複数回答可)

選択肢	平成17年度		平成22年度	
	回答数	割合	回答数	割合
環境保全活動(自然保護、環境美化、リサイクルなど)	-	-	294	33.6%
子育て支援活動(子育て相談、託児ボランティアなど)	-	-	65	7.4%
安全な生活のための活動(防犯、防災、交通安全運動など)	-	-	153	17.5%
福祉・保健活動(高齢者・障害者の生活支援、健康づくりなど)	-	-	63	7.2%
スポーツ・文化・芸術活動(同好会・サークル活動、伝統文化の継承など)	-	-	273	31.2%
まちづくり活動(地域の行事・イベント、まちおこしなど)	-	-	438	50.1%
国際協力活動(海外への支援、日本にいる外国人の支援など)	-	-	27	3.1%
災害援助活動(支援物資の送付、災害が発生した時の救援など)	-	-	56	6.4%
その他	-	-	39	4.5%
無回答	-	-	8	0.9%

(10)「取り組んでいる」と答えた方にお聞きます。地域づくり活動に参加したきっかけは何ですか。参加した活動が複数ある場合は、最も活動回数の多いものについて選んでください。

選択肢	平成22年度	
	回答数	割合
地域の慣習やルールだから	434	49.6%
知人や友人に誘われたから	123	14.1%
職場や学校等で参加する機会を与えられたから	136	15.5%
活動内容が楽しそうだったから	86	9.8%
友人や仲間を増やしたかったから	70	8.0%
自分や家族の生活に役に立つと思ったから	121	13.8%
少しでも社会の役に立ちたいと思ったから	225	25.7%
その他	21	2.4%
無回答	28	3.2%

参考 (17年度選択肢・回答)

選択肢	平成17年度	
	回答数	割合
一人ひとりが地域づくり活動に取り組む必要があると思った	55	22.1%
震災のときにボランティアを経験してやりがいを感じたから	1	0.4%
知人に誘われたから	12	4.8%
地域で生活するなかで活動せざるを得ない状況だったから	126	50.6%
行政の組織として活動するより個人として活動する方が効率的だと思ったから	6	2.4%
その他	27	10.9%
無回答	22	8.8%
合計	249	100.0%

(11)「取り組んでいない」と答えた方にお聞きします。活動に取り組んでいない理由は何ですか。あてはまる項目を選んでください。(複数回答可)

選択肢	平成22年度	
	回答数	割合
仕事や学校が忙しく、時間がなかったから	642	54.0%
子育てや家事等が忙しく、時間がなかったから	301	25.3%
趣味等の活動が忙しく、時間がなかったから	211	17.8%
支出が伴いそうだったから	34	2.9%
健康状態や体調に不安があったから	69	5.8%
一緒に参加する知人や友人がいなかったから	243	20.5%
地域活動に関心がなかったから	219	18.4%
いつ、どんな活動をしているか分からなかったから	445	37.5%
自分の地域ではそのような地域活動が行われていないから	143	12.0%
人との関わりを好まなかったから	84	7.1%
無回答	32	2.7%

参考 (17年度選択肢・回答)

選択肢	平成17年度	
	回答数	割合
取り組む時間がない	406	50.9%
どうすればいいのかわからない	202	25.3%
活動のきっかけがない	425	53.3%
ともに活動する仲間がいない	84	10.5%
活動する場所がない	36	4.5%
活動の必要性を感じない	80	10.0%
その他	36	4.5%
無回答	7	0.9%

(12)「取り組んでいない」と答えた方にお聞きします。今後、地域づくり活動に取り組みたいです thinks か

選択肢	平成17年度		平成22年度	
	回答数	割合	回答数	割合
ぜひ取り組みたい	59	7.4%	101	8.5%
条件が合えば、取り組みたい	437	54.8%	536	45.1%
取り組みたいとは思わない	99	12.4%	222	18.7%
わからない	191	24.0%	305	25.7%
無回答	11	1.4%	24	2.0%
合計	797	100.0%	1188	100.0%